



2021年9月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年11月12日
東

上場会社名 株式会社バンク・オブ・イノベーション 上場取引所
 コード番号 4393 URL <https://www.boi.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 樋口 智裕
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO経営管理部長 (氏名) 河内 三佳 (TEL) 03-4500-2899
 定時株主総会開催予定日 2021年12月17日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2021年12月20日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年9月期の連結業績(2020年10月1日~2021年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	2,129	△30.5	△807	—	△801	—	△541	—
2020年9月期	3,061	—	△60	—	△70	—	△74	—

(注) 包括利益 2021年9月期 △541百万円(—%) 2020年9月期 △74百万円(—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年9月期	△141.28	—	△54.7	△28.4	△37.9
2020年9月期	△19.34	—	△5.9	△2.2	△2.0

(参考) 持分法投資損益 2021年9月期 ー百万円 2020年9月期 ー百万円

(注) 2020年9月期及び2021年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失のため、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年9月期	2,469	722	29.3	188.13
2020年9月期	3,183	1,256	39.5	327.97

(参考) 自己資本 2021年9月期 722百万円 2020年9月期 1,256百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年9月期	△729	△65	△74	1,351
2020年9月期	△246	△12	344	2,221

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2021年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2022年9月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2022年9月期の連結業績予想(2021年10月1日~2022年9月30日)

2022年9月期の連結業績予想につきましては、新作大型RPG『メメントモリ』の配信開始及び『恋庭』の拡大に伴い、下半期には黒字に転換し、通期で連結営業利益を計上することを見込んでおりますが、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であるため記載しておりません。なお、当該理由等につきましては、添付資料P. 3「1. (4) 今後の見通し」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年9月期	3,951,000株	2020年9月期	3,951,000株
② 期末自己株式数	2021年9月期	111,768株	2020年9月期	118,674株
③ 期中平均株式数	2021年9月期	3,833,341株	2020年9月期	3,856,773株

(参考) 個別業績の概要

1. 2021年9月期の個別業績（2020年10月1日～2021年9月30日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年9月期	1,968	△35.7	△583	—	△564	—	△414	—
2020年9月期	3,061	△28.7	9	△98.2	10	△98.0	6	△98.3
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益					
	円 銭		円 銭					
2021年9月期	△108.10		—					
2020年9月期	1.63		1.63					

(注) 2021年9月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失のため、記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2021年9月期	2,633		930		35.3		242.33	
2020年9月期	3,260		1,337		41.0		349.07	

(参考) 自己資本 2021年9月期 930百万円 2020年9月期 1,337百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	2
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	4
3. 連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 連結貸借対照表	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(セグメント情報等)	11
(1株当たり情報)	11
(重要な後発事象)	11

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症が社会に大きな影響を及ぼした中、感染拡大の防止策を講じた社会経済活動や各種政策の効果、海外経済の改善もあって、持ち直しの動きが続くことが期待されておりました。しかしながら、経済の回復にはまだ相当の時間がかかる様相であるほか、感染の動向が内外経済に与える影響や金融資本市場の変動等の影響には注視する必要があります。

当社グループの事業を取り巻く環境においては、2020年の国内ゲームアプリ市場規模は1兆2,113億円と安定した推移が続いております（参考：株式会社角川アスキー総合研究所「ファミ通モバイルゲーム白書2021」）。

このような事業環境のもと、当社グループの中長期的な成長の要となる複数の新規アプリの企画・開発及び既存アプリの運営に取り組み、新作ゲームアプリ「メントモリ」の開発が進捗し事前登録を8月に開始したほか、4月より配信中の「恋庭」では、「ゲームをしてたら、恋人ができた。」という体験ができるゲーム恋活アプリとして、利用者数が毎月増加しており、今後の成長に向けたサービス基盤の確立を進めてまいりました。しかしながら、新作ゲームアプリの開発費や「恋庭」立ち上げからの広告宣伝費等が大きく影響し、営業損失を計上するに至りました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は2,129,218千円（前連結会計年度比30.5%減）、営業損失807,587千円（前連結会計年度は営業損失60,232千円）、経常損失801,937千円（前連結会計年度は経常損失70,305千円）、親会社株主に帰属する当期純損失に関しては541,587千円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失74,581千円）となりました。

なお、当社グループはスマートフォンアプリ関連事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載はしておりません。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当連結会計年度末における総資産は2,469,325千円となり、前連結会計年度末に比べ714,260千円減少いたしました。これは主に、現金及び預金が810,092千円減少、売掛金が141,811千円減少、繰延税金資産が264,346千円増加したことによるものであります。

(負債)

当連結会計年度末における負債は1,747,038千円となり、前連結会計年度末に比べ179,664千円減少いたしました。これは主に、流動負債の「その他」に含まれる前受金が93,545千円減少、長期借入金（1年内返済予定の長期借入金を含む。）が81,909千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当連結会計年度末における純資産は722,287千円となり、前連結会計年度末に比べ534,595千円減少いたしました。これは主に、親会社株主に帰属する当期純損失を541,587千円計上したことに伴い利益剰余金が減少したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において営業活動の結果使用した資金は729,831千円（前連結会計年度比483,279千円の支出増）となりました。主な要因は、税金等調整前当期純損失の計上801,937千円、売上債権の減少額141,811千円、利息の支払額11,608千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において投資活動の結果使用した資金は65,443千円（前連結会計年度比53,391千円の支出増）となりました。主な要因は、定期預金の純増額59,994千円、有形固定資産の取得による支出5,521千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度において財務活動の結果使用した資金は74,916千円（前連結会計年度は344,156千円の収入）となりました。主な要因は、長期借入金の純減額81,909千円、ストックオプションの行使による収入7,266千円でありま

す。

(4) 今後の見通し

当社グループは、「品質最優先」の方針のもと、既存ゲームアプリの長期運営並びに自社IPの育成を行いつつ、高品質の新規のゲーム及びサービス（以下、「新規アプリ」）の開発・運営等によって、数年ごとに年間売上高を数倍規模に引き上げていくことを目指しております。また、当社グループの新規アプリは、自社IPかつ自社開発であることから利益率が高く、ヒットによって大きなリターンを得られる可能性がある一方、開発本数を絞ることによるリスクが存在するのも事実であり、また既存アプリの経年による売上高減少も想定しております。

① 新規アプリの開発

当社グループは、新規のゲームアプリ2本とスマートフォン向けサービス2本の開発を進めており、2021年8月より事前登録受付中の新作大型RPG「メメントモリ」などの新規のゲームアプリ2本については、1本あたり日本国内月額課金高5億円以上の規模を目指しております。またスマートフォン向けサービス2本のうち1本は、メタバース領域のアプリであります。このメタバース構想・企画は2019年より着手しており、2021年8月に組織化いたしました。

当社グループでは引き続き、高品質の新規アプリ開発に注力してまいります。

② 「恋庭」の拡大

株式会社バンク・オブ・イノベーションが開発・運営する「恋庭」は、「ゲームをしてたら、恋人ができた。」という体験ができるゲーム恋活アプリとして、2021年4月の配信開始以降、利用者数が毎月増加しており、今後の成長に向けたサービス基盤の確立を進めてまいりました。今後、この基盤をもとに利用者が活用しやすいシステムの実装や環境の整備を進めていくとともに、市場シェアを高める取り組みも随時行っていく方針であります。

③ 既存ゲームアプリの長期運営

当社は、日本国内においてゲームアプリ「幻獣契約クリプトラクト（以下、「クリプトラクト」）」及び「ミトラスフィア」の2本を提供しております。いずれもユーザーには長期に渡って楽しんでいただいております。「クリプトラクト」は配信開始から約6年半、「ミトラスフィア」は4年が経過しました。当社は引き続き、ゲーム内外問わず、ユーザーに長く楽しんでいただける施策の投入等を通して質の高いサービスの提供に取り組んでまいります。

④ ゲームアプリの海外配信

当社が掲げる企業理念のロマン（世界で一番「思い出」をつくるエンターテインメント企業）のもと、開発中のゲームアプリ2本は、世界同時配信かつ自社配信（ただし、中国本土等の一部国・地域は除く。）を前提として開発に取り組んでおります。

また、既存ゲームアプリ2本についても、現地のパブリッシャー企業等（以下、「現地企業」という。）との連携により配信又はそれに向けて準備が進められております。

本書提出日時点におけるゲームアプリの海外配信状況は以下のとおりであります。

【自社配信】

	「ミトラスフィア」	「クリプトラクト」	新作大型RPG① (メメントモリ)	新作大型RPG②
日本	配信中	配信中	2022年9月期 配信開始予定	開発中
海外 (中国本土等の一部国・地 域を除く。)	他社配信のため該当なし		2022年9月期 配信開始予定	開発中

【他社配信】 (※1)

	「ミトラスフィア」	「クリプトラクト」	新作大型RPG① (メメントモリ)	新作大型RPG②
中国本土 (※2)	配信中	未定	検討中	検討中
英語圏 (※2)	配信中	— (配信終了)	自社配信前提のため該当なし	
その他海外	配信中	— (配信終了)		

※1 他社配信による海外展開においては、当社と現地企業との間で締結した契約に基づき、当社はゲームアプリ開発に必要なデザイン及びソースコード等を現地企業に提供し、現地企業によりローカライズ開発・運営が行われております。

※2 当社と現地企業との間で締結した契約に基づき、売上に対する一定割合の金額を当社のロイヤリティとして受け取るようになっておりますが、現地企業からの収益報告には一定の期間を要することから、当社では収益発生月より数カ月遅れで収益計上を行うこととし、中国本土版及び英語圏版の2021年7月～9月の売上高については、2022年9月期に計上予定であります。

さらに中国本土版については、将来収益となるリリース後に発生するレベニューシェアのうち、一定額がミニマムギャランティとして事前入金される契約となっております。当該ミニマムギャランティの一部について2019年9月期及び第3四半期連結累計期間に入金がありましたが、当該入金額はレベニューシェアに応じた金額を収益化していくものであるため、当連結会計年度末時点においては前受金として流動負債の「その他」に計上しております。

連結業績予想については、2022年9月期は新作大型RPG『メメントモリ』の配信開始及び『恋庭』の拡大に伴い、下半期には黒字に転換し、通期で連結営業利益を計上することを見込んでおります。また、2023年9月期においても収益が堅調に推移し、引き続き連結営業利益を計上することを見込んでおります。

しかしながら、当社グループが属する業界の変化が激しいこと、また機動的な投資判断を実施することから、現時点で適正かつ合理的な業績予想の算定が困難であり、具体的な予想値は非開示とさせていただきますが、当社グループは当連結会計年度が業績推移の底ととらえ、上記の取り組みを通して今後大きな成長を目指してまいります。なお、情報利用者をミスリードさせることのない適正かつ合理的な業績予想を行うことが可能となった時点で速やかに開示する方針であります。

また、本書提出日時点における新型コロナウイルス感染症による当社グループへの影響は軽微であります。今後、当社グループの業績等に重要な影響を及ぼす変化が観測された場合には、適時開示にてお知らせいたします。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループでは、国内の同業他社との比較可能性を確保するため、会計基準は日本基準を適用しております。なお、IFRSの適用につきましては、当社グループの事業における内部環境及び外部環境を考慮したうえで、適切な対応をとっていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,483,665	1,673,572
売掛金	367,898	226,087
その他	156,774	139,718
貸倒引当金	—	△5,000
流動資産合計	3,008,339	2,034,379
固定資産		
有形固定資産		
建物	10,679	10,679
減価償却累計額	△8,205	△10,580
建物(純額)	2,473	98
工具、器具及び備品	22,999	28,520
減価償却累計額	△16,594	△20,201
工具、器具及び備品(純額)	6,404	8,318
有形固定資産合計	8,878	8,416
無形固定資産		
ソフトウェア	1,802	5,571
無形固定資産合計	1,802	5,571
投資その他の資産		
繰延税金資産	90,290	354,636
敷金及び保証金	74,275	66,322
その他	—	3,355
貸倒引当金	—	△3,355
投資その他の資産合計	164,565	420,958
固定資産合計	175,247	434,946
資産合計	3,183,586	2,469,325

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年9月30日)	当連結会計年度 (2021年9月30日)
負債の部		
流動負債		
1年内返済予定の長期借入金	528,372	466,305
未払金	161,982	166,903
その他	235,801	133,124
流動負債合計	926,156	766,333
固定負債		
長期借入金	1,000,547	980,705
固定負債合計	1,000,547	980,705
負債合計	1,926,703	1,747,038
純資産の部		
株主資本		
資本金	490,943	490,943
資本剰余金	468,383	468,383
利益剰余金	491,571	△54,201
自己株式	△194,015	△182,838
株主資本合計	1,256,883	722,287
純資産合計	1,256,883	722,287
負債純資産合計	3,183,586	2,469,325

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
売上高	3,061,423	2,129,218
売上原価	2,497,994	2,327,013
売上総利益又は売上総損失(△)	563,428	△197,795
販売費及び一般管理費	623,660	609,791
営業損失(△)	△60,232	△807,587
営業外収益		
受取利息	50	42
助成金収入	4,831	17,164
その他	354	1,837
営業外収益合計	5,235	19,045
営業外費用		
支払利息	8,299	11,607
支払手数料	7,009	1,788
営業外費用合計	15,308	13,395
経常損失(△)	△70,305	△801,937
税金等調整前当期純損失(△)	△70,305	△801,937
法人税、住民税及び事業税	380	3,996
法人税等調整額	3,895	△264,346
法人税等合計	4,275	△260,350
当期純損失(△)	△74,581	△541,587
親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△74,581	△541,587

連結包括利益計算書

	(単位：千円)	
	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
当期純損失(△)	△74,581	△541,587
包括利益	△74,581	△541,587
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△74,581	△541,587

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	480,242	457,682	566,153	△99,980	1,404,097	1,404,097
当期変動額						
新株の発行(新株予約権の行使)	10,701	10,701			21,402	21,402
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△74,581		△74,581	△74,581
自己株式の取得				△94,035	△94,035	△94,035
自己株式の処分				—	—	—
当期変動額合計	10,701	10,701	△74,581	△94,035	△147,214	△147,214
当期末残高	490,943	468,383	491,571	△194,015	1,256,883	1,256,883

当連結会計年度(自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本					純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	
当期首残高	490,943	468,383	491,571	△194,015	1,256,883	1,256,883
当期変動額						
新株の発行(新株予約権の行使)	—	—			—	—
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△541,587		△541,587	△541,587
自己株式の取得				△273	△273	△273
自己株式の処分			△4,185	11,451	7,266	7,266
当期変動額合計	—	—	△545,772	11,177	△534,595	△534,595
当期末残高	490,943	468,383	△54,201	△182,838	722,287	722,287

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純損失 (△)	△70,305	△801,937
減価償却費	8,661	6,560
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	8,355
受取利息	△50	△42
助成金収入	△4,831	△17,164
支払利息	8,299	11,607
売上債権の増減額 (△は増加)	117,488	141,811
未払金の増減額 (△は減少)	△90,424	575
その他	△15,014	△151,306
小計	△46,175	△801,540
利息の受取額	50	42
利息の支払額	△8,391	△11,608
法人税等の支払額	△196,866	—
法人税等の還付額	—	66,110
助成金の受取額	4,831	17,164
営業活動によるキャッシュ・フロー	△246,552	△729,831
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	—	20,006
定期預金の預入による支出	△7,001	△80,001
有形固定資産の取得による支出	△3,550	△5,521
無形固定資産の取得による支出	△1,500	—
敷金及び保証金の回収による収入	—	73
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,052	△65,443
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	450,000	—
短期借入金の返済による支出	△450,000	—
長期借入れによる収入	950,000	500,000
長期借入金の返済による支出	△533,210	△581,909
自己株式の取得による支出	△94,035	△273
ストックオプションの行使による収入	21,402	7,266
財務活動によるキャッシュ・フロー	344,156	△74,916
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	104
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	85,553	△870,087
現金及び現金同等物の期首残高	2,135,907	2,221,460
現金及び現金同等物の期末残高	2,221,460	1,351,372

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループはスマートフォンアプリ関連事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり純資産額	327.97円	188.13円
1株当たり当期純損失(△)	△19.34円	△141.28円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純損失(△)の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2019年10月1日 至 2020年9月30日)	当連結会計年度 (自 2020年10月1日 至 2021年9月30日)
1株当たり当期純損失(△)		
親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△74,581	△541,587
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△74,581	△541,587
普通株式の期中平均株式数(株)	3,856,773	3,833,341
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含まれなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。